

令和 8 年度（2026 年度）

神 戸 大 学 大 学 院
国際文化学研究科博士課程前期課程
学 生 募 集 要 項

- ・ 出願方法が Web 出願となります。「Web 出願の流れ」等に従って出願してください。
- ・ 本要項に掲載されている募集内容が変更になる場合は、本研究科のウェブサイトに掲載をします。こまめにウェブサイトをご確認ください。特に、出願の直前及び試験実施日の直前には、必ずご確認をお願いいたします。

神 戸 大 学

目 次

博士課程前期課程

はじめに

1. 募集人員	1
2. 出願資格	2
3. 出願期間	3
4. 出願方法	3
5. 入試方法，試験期日及び試験場	4
6. 受験及び修学上特別な配慮を必要とする者の事前相談	6
7. 合格者発表	6
8. 入学手続	7
9. 個人情報の取扱いについて	7
10. 長期履修学生制度	8
11. 注意事項	8
12. 筆記試験・口述試験・試験時間など	8
13. 筆記試験の外国語科目，日本語科目における辞書持込みについて	11
14. 令和 8 年度の入試配点	12
15. 参考	12
(1) 志願者数などの状況	12
(2) 過去の試験問題の閲覧について	12

麻しん（はしか）・風しんの感染予防措置	13
---------------------------	----

担当教員一覧

はじめに

(1) 国際文化学研究科が求める学生像

国際文化学研究科では、深い異文化理解能力と自在なコミュニケーション能力を有し、豊かな学識と創造的な研究能力を備えた人材を養成することを目指しています。

上記の教育研究上の目標をふまえ、本研究科が求めるのは次のような学生です。

前期課程

- ・文化の多様性をふまえ、異文化間の関係性を多角的に探究することに強い意欲を持ち、それを達成する基礎的な能力を有する学生
[求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・協働性，関心・意欲]
- ・言語情報コミュニケーションの動態を深く理解し、現代のグローバル社会の諸課題に取り組むことに強い意欲を持ち、それを達成する基礎的な能力を有する学生
[求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・協働性，関心・意欲]
- ・高い専門性の上に立った学際的研究を行うことに強い意欲を持ち、それを達成する基礎的な能力を有する学生
[求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・協働性，関心・意欲]

後期課程

- ・文化の多様性と相互作用の動態を究明し、文化研究の先端的な領域を主体的に開拓することに強い意欲を持ち、それを達成する基礎的な能力を有する学生
[求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・協働性，関心・意欲]
- ・言語情報コミュニケーションの諸問題を探求し、グローバル化する現代世界を多角的に研究することに強い意欲を持ち、それを達成する基礎的な能力を有する学生
[求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・協働性，関心・意欲]
- ・高度な専門性の上に立った領域横断的な研究を行うことに強い意欲を持ち、それを達成する基礎的な能力を有する学生
[求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・協働性，関心・意欲]

以上のような学生像にもとづいて、本研究科の入学試験は実施されます。

(2) 博士課程前期課程の教育プログラムについて

博士課程前期課程には研究者養成型プログラムとキャリアアップ型プログラムがあります。
入学後に、研究者養成型プログラム又はキャリアアップ型プログラムのいずれかを選択します。

研究者養成型プログラム

前期課程修了後、後期課程入試を経て、後期課程への進学を希望する学生に対応した教育プログラムです。研究者や高度専門家の養成を目指したカリキュラムが提供されています。高度専門演習を中心とした所定単位の修得と修士論文又は修士フォリオの提出が修了要件になります。

キャリアアップ型プログラム

前期課程修了後、就職を希望する学生に対応した教育プログラムです。幅広い専門的知識と実践的な応用能力の修得によって、キャリアの高度化を目指します。特殊講義とアカデミックスキル科目を中心とした所定単位の修得と、キャリアデザインに即した修了研究レポートの提出によって、修士号が取得できます。

1. 募集人員

専 攻	領 域	コ ー ス	募 集 人 員
文化関連	地域文化系	日本学	18 人
		アジア・太平洋文化論	
		ヨーロッパ・アメリカ文化論	
	異文化コミュニケーション系	文化人類学	
		越境文化論	
		国際関係・比較政治論	
グローバル 文 化	現代文化システム系	モダニティ論	29 人
		先端社会論	
		芸術文化論	
	言語情報コミュニケーション系	言語コミュニケーション	
		感性コミュニケーション	
		情報コミュニケーション	
	外国語教育系	外国語教育システム論	
		外国語教育コンテンツ論	

※ 募集人員は、全ての特別選抜（社会人、外国籍学生、推薦）を合わせた人数です。

2. 出願資格

① 一般入試

下記枠内(1)～(11)のいずれかに該当する者

② 社会人特別入試

入学の時点で、社会人としての経験を 3 年以上有し、下記枠内(1)～(10)のいずれかに該当する者。
ただし、外国人留学生は除く。

(注) なお、社会人特別入試への出願資格のある者でも、一般入試への出願は可能です。

③ 外国籍学生特別入試

「留学」の在留資格を取得して日本に入国した者又は入国しようとする者（ただし、入学時までに「留学」の在留資格を取得見込みの者も含む。）で、高等学校に相当する期間の全課程を外国において修了し、かつ 下記枠内(1)～(11)のいずれかに該当する者。

なお、「永住者」「日本人の配偶者等」などの在留資格を取得している者であっても、高等学校に相当する期間の全課程を外国において修了し、かつ一般入試の出願資格(1)～(11)のいずれかに該当する者については、出願を認めることがある。

(注) なお、外国籍学生特別入試への出願資格のある者でも、一般入試への出願は可能です。ただし、筆記試験のうち基礎科目について外国語を選択する場合には、原則として母語である言語を選択することはできません。

- | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">(1) 日本の大学を卒業した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者(2) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者又は令和 8 年 3 月 31 日までに学士の学位を授与される見込みの者(3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和 8 年 3 月 31 日までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者(7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者(8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）(9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者(10) 本研究科において、出願資格事前審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 8 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(11) 日本の大学に、令和 8 年 3 月末日時点において①3 年以上在学し、本研究科において、②所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。

※休学期間を除いて 3 年以上であって 4 年に満たない期間とする。

※出願時に、卒業に必要な単位のうち 90 単位以上を修得していること。この修得単位のうち 60 単位以上が「優 (80 点)」以上の評価であること。

(注 1) 出願資格(6)により出願しようとする者は、令和 7 年 9 月末を目処に、事前に本研究科教務学生係までご相談ください。

(注 2) 出願資格(10)により出願しようとする者は、後述する出願資格事前審査が必要です。

(注 3) 出願資格(11)により出願し、大学院へ入学する者は、大学は中途退学となります。各種国家試験において学士の学位を有することをその基礎資格とすることがありますのでご注意ください。「大学評価・学位授与機構」が定める要件を満たすことにより学士の学位授与を申請することができますので、ご自身でご確認ください。

(注意) 出願資格事前審査について

・上記出願資格(10)により出願しようとする者は、出願に先立って本研究科の出願資格事前審査を受けなければなりません。上記出願資格(1)～(9)(11)のいずれかに該当する場合、出願資格事前審査は不要です。

・事前審査を受けようとする者は、先ず教務学生係へ連絡をし、様式を請求してください。その後、次の書類などを申請期間に必着するように郵送（書留速達郵便）してください。直接持参によるものは一切受け付けません。

申請期間：令和 7 年 8 月 18 日(月)から 8 月 22 日(金)まで

① 出願資格事前審査願（教務学生係から配付された様式を使用し、自書してください。）

② 履歴書（教務学生係から配付された様式を使用し、自書してください。）

③ 最終学校が発行した成績証明書及び卒業証明書

④ 大学を卒業した者と同等以上の学力があることを示す書面（内容・形式は自由）とそのことの裏付けとなりうる書面〔職歴・学習歴に関する証明書（コピー不可）、各種資格試験の合格通知書、著書、論文、特許、実用新案及び雑誌記事など（コピー可）〕

⑤ 本研究科における研究計画書（様式は、本研究科のホームページからダウンロードすること。）

⑥ 審査結果通知用封筒（定形封筒に速達郵便用切手 410 円を貼付したもの。）

・審査のために提出された書類などは返却しません。

・本研究科においては、提出された書類に基づき、個人の学習歴や実務経験・国際的活動経験などの具体的な内容及び研究計画書などを総合的に勘案して、出願資格について審査を行います。審査の結果を通知するまで願書の送付及び検定料の払込みは行わないでください。

・審査の結果は、令和 7 年 9 月 19 日(金)までに本人あて通知します。

送付先

神戸大学大学院国際文化学研究科教務学生係

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 1 丁目 2-1

封筒の表に「神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程前期課程事前審査書類在中」と朱書してください。

3. 出願期間

令和 7 年 10 月 2 日(木)から令和 7 年 10 月 8 日(水)午後 5 時まで

※出願期間内に、Web 出願および検定料の支払いを完了させてください。

4. 出願方法

出願は、Web 出願サイトより手続を行ってください。また、出願に必要な書類は PDF（顔写真データのみ jpg, png, bmp または heic 形式）にして、Web 出願サイトへアップロードしてください。

アップロード項目にアップロードできる PDF は各項目につき 1 つです。複数のファイルをアップロードする場合は、PDF を結合し、単一の PDF にしてアップロードしてください。

<Web 出願サイト> <https://e-apply.jp/ds/kobe-u/>



Web 出願サイトへの通信に問題がある場合は、本研究科教務学生係に問い合わせてください。

日本語又は英語以外の言語で書かれている場合、日本語又は英語の翻訳を添付してください。また、証明書類に記載された氏名が婚姻などにより変更した場合は、公的機関が発行した証明書類を添付してください。

	提出書類など	摘 要
(1)	顔写真データ	<p>Web 出願サイトの指示に従い、アップロードしてください。(上半身脱帽、正面向き、無背景、出願前 3 ヶ月以内に単身で撮影した鮮明なもの、jpg, png, bmp または heic 形式)</p> <p>なお、顔写真データは、受験票に使用し、受験時に本人と照合を行います。そのため、顔写真データは、画像に加工や修正をすることを禁じます。顔写真データに加工や修正が施され、本人と同一人物であることが確認できない場合は、受験を続けることができない場合があります。</p>
(2)	成績証明書 【成績証明書アップロード】	<p>出願資格を証明する出身大学など（以下「出願資格大学」という。）が発行したもの。</p> <p>該当するものを全て PDF にして Web 出願サイト【成績証明書アップロード】にアップロードすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部（教養課程を含む。）の成績証明書。 ・大学に編入学をしている場合は、編入学前の大学等の成績証明書。 <p>※紙の証明書のみをお持ちの場合は、写真データを PDF にしたものではありませんため、複合機などでスキャンした PDF をアップロードすること。</p> <p>※出願資格(2)により出願しようとする者は、学位授与申請に要する全ての単位取得証明書又は成績証明書（各機関が発行）を提出してください。</p> <p>※出願資格(11)により出願する者は、出願時点のもの。</p>
(3)	卒業（見込）証明書 【卒業／修了（見込）証明書 または学位取得証明書 アップロード】	<p>出願資格大学が発行したものを提出してください。</p> <p>該当するものを PDF にして Web 出願サイト【卒業／修了（見込）証明書または学位取得証明書アップロード】にアップロードすること。</p> <p>※出願資格(11)により出願する者は、提出不要。</p>
		<p>注意事項</p> <p>出願資格大学の在学期間が標準修業年限に満たない場合には、残りの期間の在学を証明する書類を別途提出してください。（例：出願資格大学に 3 年次編入した場合、編入前に所属した大学などの在学証明書など）</p> <p>出願資格(2)により出願しようとする者は、卒業（見込）証明書の代替書類として、大学評価・学位授与機構の発行した学位授与（申請受理）証明書を提出してください。</p>

		<p>【外国の大学卒業者】出願資格(3)により出願しようとする者は、「取得した学位が記載されている卒業（見込）証明書」を提出してください。「卒業（見込）証明書」に取得した学位が記載されていない場合、「卒業（見込）証明書」に加えて「学士の学位を取得した（または見込である）」証明書を提出してください。</p>
(4)	CHSI の証明書 【ファイルアップロード 1】	<p>【中国の大学卒業者】出願資格(3)により出願しようとする者で、中国の大学出身の者は、以下の書類を提出してください。PDF にしたものを、Web 出願サイト【ファイルアップロード 1】にアップロードしてください。</p> <p>【卒業済である者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate (英文) ・ Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate (英文) <p>【在学中で卒業見込の者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Online Verification Report of Student Record (英文) <p>いずれの書類も中国高等教育学生信息网（CHSI）の認証手続きを必要とします。中国高等教育学生信息网（CHSI）のウェブサイト https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp に登録し、該当書類を PDF ファイルで入手後、その他の証明書と併せてアップロードすること。出願時点で Web 認証の有効期限が 1 か月以上残っていること。Web 認証の有効期限切れである等の理由により、本研究科が Web 認証を行えない場合は出願書類不備とみなします。</p>
(5)	研究計画書 【ファイルアップロード 2】	<p>本研究科のホームページからダウンロードした研究計画書の様式を使用して、日本語又は英語で PC 等で入力し、作成してください。（A4 版で表紙 1 枚、研究計画書 2 枚分）</p> <p>PDF にしたものを、Web 出願サイト【ファイルアップロード 2】にアップロードしてください。</p> <p>※ 研究計画書の様式は、以下の URL からダウンロードできます。 http://web.cla.kobe-u.ac.jp/prospective-g</p>
(6)	検定料（30,000 円）	<p><支払方法> Web 出願サイトより支払い手続を行うこと。（払い込みにかかる手数料は、志願者負担とする。）</p> <p>※出願時に国費外国人留学生である者のうち、令和 8 年 4 月 1 日以降において、引き続き、「国費外国人留学生奨学金の支給期間満了に伴う延長申請手続きが可能な資格を有する者」については、検定料は不要です。</p>
以下については、該当者のみ提出してください。		
(7)	住民票の写し 【ファイルアップロード 3】	<p>※ <u>国内在住の外国籍の者のみ提出</u></p> <p>提出日前 30 日以内に作成されたものに限り、国籍・地域、在留資格・期間に係る記載事項が<u>省略されていないもの</u>を提出してください。</p> <p>出願時に国外に居住している者は、入学時に提出してください。</p> <p>PDF にしたものを、Web 出願サイト【ファイルアップロード 3】にアップロードしてください。</p>
(8)	「国費外国人留学生証明書」及び 「国費延長申請の手	<p>※ <u>国費外国人留学生のみ提出</u></p> <p>所属大学が発行した国費外国人留学生である旨の証明書及び「国費外国人留学生奨学金の支給期間満了に伴う延長申請手続きを行う意思」を</p>

	続きを行う予定である旨の本人の申立書 【国費外国人留学生証明書】	記した本人の申立書（様式自由）。 上記 2 つの書類を 1 つの PDF にし、Web 出願サイト【国費外国人留学生証明書】にアップロードしてください。
(9)	在籍した最終大学の在学期間証明書 【ファイルアップロード 4】	※出願資格(11)により出願する者のみ提出 休学期間を除いて 3 年以上であって 4 年に満たない期間であることを証明できるもの。 PDF にしたものを、Web 出願サイト【ファイルアップロード 4】にアップロードしてください。
(10)	卒業必要単位数が記された学生便覧・シラバス等の抜粋 【ファイルアップロード 5】	※出願資格(11)により出願する者のみ提出 PDF にしたものを、Web 出願サイト【ファイルアップロード 5】にアップロードしてください。

※出願に必要な書類は、出願期日までにWeb上で提出することとし、郵送は不要。ただし、やむを得ない理由により書類のアップロードが困難な場合は、本研究科教務学生係に問い合わせること。

出願書類の原本は、合格発表後、速やかな提出を求めるため、必ず手元に保管しておくこと。詳細は、合格者に通知する。

原本が提出されない場合は、入学が認められない場合があることに留意すること。

5. 入試方法、試験期日及び試験場

(1) 筆記試験、口述試験で選抜します。

(2) 試験期日

令和 7 年 11 月 15 日(土)・16 日(日)

ただし、出願状況によっては、11 月 15 日(土)の 1 日で実施する場合があります。1 日で実施する場合には、受験票送付の際に詳細を通知します。

また、筆記試験の科目、口述試験については、8 ページ以下を参照してください。

(3) 試験場

神戸市灘区鶴甲 1 丁目 2-1

神戸大学大学院国際文化科学研究科学舎

(市バス 16 系統又は 106 系統「神大国際文化科学研究科前」下車)

6. 受験及び修学上特別な配慮を必要とする者の事前相談

申請期日：令和 7 年 8 月 25 日(月)まで

障がいのある者などのうち、受験上特別な配慮、修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、原則として申請期日までに国際文化科学研究科教務学生係にメールにて申し出て相談してください。

7. 合格者発表

令和 7 年 11 月 25 日(火) 午前 10 時（予定）

神戸大学大学院国際文化科学研究科ホームページに掲載します。

当日、合格者へ合格通知書等を郵便で発送します。

なお、電話などによる照会には一切応じません。

※神戸大学大学院国際文化科学研究科ホームページ：<http://web.cla.kobe-u.ac.jp/>

8. 入学手続

(1) 入学手続及び方法

入学手続関係書類は、令和 8 年 2 月上旬に送付します。入学手続日、提出書類、入学手続方法などの詳細については、入学関係書類送付の際にお知らせします。

受験票、入学関係書類を提出してください。また次の納付金を納入してください。

(2) 納付金

区 分	金 額	摘 要
入 学 料	282,000 円	1. 納付金額は令和 7 年度のものであります。 2. 令和 8 年度入学者の納付金額については、決定次第、別途お知らせします。 3. 納付した入学料は、いかなる理由があっても返還できません。
授 業 料	前期分 267,900 円 年 額 535,800 円	

(注) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(参考) 入学料免除、入学料徴収猶予及び授業料免除について

令和 8 年度の入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除などの内容、申請方法などの詳細については、決まり次第、神戸大学ホームページ「学生生活・学生支援」→「経済支援」→「授業料（入学料）の免除及び入学料の徴収猶予について」に掲載します。

(URL : <https://www.kobe-u.ac.jp/campuslife/finaid/index.html>)

掲載内容について、不明な点などがある場合は、下の問い合わせ先に照会してください。

入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除に関する問い合わせ先

神戸大学学務部学生支援課奨学支援グループ（免除担当）

TEL:078-803-5431 メール:stdnt-shogakushien@office.kobe-u.ac.jp

9. 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「神戸大学の保有する個人情報の管理に関する指針」等に基づき厳密に取扱います。
- (2) 入学試験等に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選考（出願処理、入学試験）、合格者発表、入学手続業務、今後の入試方法及び大学教育改善のための調査・研究のために利用します。なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。
- (3) 出願にあたってお知らせいただいた個人情報は、入学者についてのみ、入学後の学生支援関係（健康管理、授業料免除及び奨学金申請）、教務関係（学籍、修学指導）などの教育目的及び授業料などに関する業務並びにこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (4) 一部の業務を本学より委託を受けた業者（以下「委託業者」という。）において行うことがあります。業務委託にあたっては、受託業者に対して、受託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部について守秘義務を遵守して提供します。

10. 長期履修学生制度

書類提出期日：令和8年2月6日(金)

この制度は、職業を有しているなどの事情により、2年間で修了に必要な単位を修得し修了することが困難な者が、入学時に計画的に2年を超えて単位を修得し修了することを申請し、大学がこれを認めた場合、2年間の授業料で2年を超えて在学できる制度です。

2年間の授業料の合計額を長期履修学生として認められた年数で除した額が年額授業料となります。ただし、在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

職業を有しているなどの事情とは、次のいずれかに該当する者で、標準修業年限内での修学が困難なものです。

- (1) 職業を有し就業している者〔自営業及び臨時雇用(単発的なアルバイトを除く。)を含む。〕
- (2) 家事、育児、介護などの事情を有する者
- (3) その他研究科長が相当と認めた者

なお、職業を有しているなどの事情であっても一定の条件のもとに認められる制度です。申請希望者には提出していただく書類を案内しますので、合格発表後速やかに国際文化学研究科教務学生係にメールにて相談してください。

11. 注意事項

- (1) 出願手続後は、出願書類の記載事項の変更は認めません。
- (2) 一度受理した出願書類の返却及び検定料の返還は認めません。
- (3) 記載事項に虚偽の記入をした場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 在留資格により日本に滞在して入学する場合、入学日までに「出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）」において大学院入学に支障のない在留資格を有すること。
- (5) 出願書類が到着したかどうかのお問合せについては、回答できません。
- (6) 出願時にアップロードした書類の原本が提出されない場合は、入学が認められない場合がある。

12. 筆記試験・口述試験・試験時間など

(1) 筆記試験

筆記試験は、基礎科目及び専門科目について以下のとおり行います。

①基礎科目

- ・基礎科目は、外国語（英語）、日本語、情報から1つを選択し受験します。コースごとに選択できる科目が決まっているので、詳細は以下の表を参照してください。
- ・基礎科目は、それぞれの領域での研究に必要と思われるレベルの問題を出題します。

A)一般入試及び社会人特別入試

- ・一般入試，社会人特別入試の志願者は、日本語は選択できません。

B)外国籍学生特別入試

- ・外国籍学生特別入試の志願者は、日本語を選択してください。

②専門科目

- ・専門科目は、それぞれのコースの研究領域に関する論理的思考能力及びその展開力を測る問題を出題します。
- ・専門科目の解答に使用できる言語については、下表を参照してください。

◆表 筆記試験科目について
文化関連専攻

領 域	コ ー ス	専 門 科 目 ※上段は出題範囲， 下段は解答に使用できる言語を 表す。	基 礎 科 目 ※以下表中の科目から 1 科目を出願時 に選択。(選択にあたって条件を付し ているコースがあるので注意するこ と。)
地域文化系	日本学	日本の文化・社会に関する専門 的な問題	・英語 ・日本語(外国籍学生特別入試)
		日本語又は英語	
	アジア・ 太平洋文化論	アジア・太平洋地域の社会・文 化・民族・歴史に関する専門的 問題	・英語 ・日本語(外国籍学生特別入試)
		日本語又は英語	
	ヨーロッパ・ アメリカ文化論	ヨーロッパ・アメリカの社会・ 文化・歴史の専門的事項に関す る問題	・英語 ・日本語(外国籍学生特別入試)
		日本語又は英語	
異文化コ ミュニケー ション系	文化人類学	文化人類学の専門的な知識，思 考力を問う問題	・英語 ・日本語(外国籍学生特別入試)
		日本語又は英語	
	越境文化論	越境文化論に関する専門的な 問題	・英語 ・日本語(外国籍学生特別入試)
		日本語又は英語	
	国際関係・比較 政治論	国際関係論と比較政治学に関 する専門的な問題	・英語 ・日本語(外国籍学生特別入試)
		日本語又は英語	

グローバル文化専攻

領 域	コ ー ス	専 門 科 目 ※上段は出題範囲， 下段は <u>解答に使用できる言語</u> を 表す。	基 礎 科 目 ※以下表中の科目から1科目を出願時に 選択。(選択にあたって条件を付して いるコースがあるので注意するこ と。)
現代文化 システム系	モダニティ論	近現代の社会・思想・文化全般 に関する一般的問題	・英語 ・日本語(外国籍学生特別入試)
		日本語又は英語	
	先端社会論	現代社会理論，ジェンダー論， グローバル・ジャスティス，国 際社会学，メディア・文化研究 について，そのうちの一つ以 上の領域に関する論述問題	・英語 ・日本語(外国籍学生特別入試)
		日本語又は英語	
	芸術文化論	芸術文化論に関する専門的問 題	・英語 ・日本語(外国籍学生特別入試)
		日本語又は英語	
言語情報コ ミュニケー ション系	言語コミュニケー ション	日本語教育，日本語学，第二言 語習得論，認知言語学，対照言 語学，レトリック，物語論など の分野の中から出題	・英語 ・日本語(外国籍学生特別入試)
		日本語又は英語	
	感性コミュニケー ション	感性コミュニケーションに関 連して，コミュニケーション 論，実験心理学，認知心理学， 認知神経科学，言語学，音声学 などの領域から出題	・英語 ・日本語(外国籍学生特別入試)
		日本語又は英語	
	情報コミュニケー ション	文化情報・社会科学・教育など におけるコンピュータの利用 に関する論述問題及び専門的 知識を問う問題	・英語 ・情報 ・日本語(外国籍学生特別入試)
		日本語又は英語	

領 域	コ ー ス	専 門 科 目 ※上段は出題範囲， 下段は <u>解答に使用できる言語</u> を 表す。	基 礎 科 目 ※以下表中の科目から1科目を出願時に 選択。（選択にあたって条件を付して いるコースがあるので注意するこ と。）
外国語教育系	外国語教育システム論	外国語教育又は言語文化に関する問題	・英語 ・日本語(外国籍学生特別入試)
		日本語での解答を義務づけていない設問については英語による解答を認める。	上記のうち、母語以外で、かつ入学後の主たる研究対象とする言語から1科目を選択
	外国語教育コンテンツ論	外国語教育学・応用言語学及び周辺分野に関する問題	・英語 ・日本語(外国籍学生特別入試)
		日本語での解答を義務づけていない設問については英語による解答を認める。	

(2) 口述試験

志望するコースでの入学後の研究などについて、各自の研究計画書に基づいて行います。

(3) 試験時間など

- ・口述試験の集合時刻

筆記試験当日に掲示します。

- ・コースにより、1日目の筆記試験終了後、引き続き、同日中に口述試験を行う場合があります。その際は、受験票送付時に詳細を指示します。

期 日	試 験 区 分	試 験 時 間
令和7年11月15日（土）	筆記試験（基礎科目）	10:00～11:30
	筆記試験（専門科目）	13:00～15:00
令和7年11月16日（日）	口述試験	筆記試験当日に通知します。

13. 筆記試験の外国語科目，日本語科目における辞書持込みについて

外国語科目試験，及び日本語科目試験において辞書1冊の持込みを認めます。ただし，電子辞書及び電子翻訳機の持込みは認めません。

14. 令和 8 年度の入試配点

区 分	一 般 入 試	社 会 人 特 別 入 試 外国籍学生特別入試
専 門 科 目	150	150
基 礎 科 目	150	100
口 述 試 験	100	150
合 計	400	400

15. 参考

(1) 志願者数などの状況

令和 7 年度の神戸大学大学院国際文化学研究科の文化関連専攻及びグローバル文化専攻の志願者数などの状況は次のとおりです。

令和 7 年度

専 攻	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数
文化関連専攻	18	53(※3◎28□4)	28(※2◎9□3)	19(※2◎4□3)
グローバル文化専攻	29	80(※1◎50□7)	29(※1◎11□4)	27(※0◎11□4)
合 計	47	133(※4◎78□11)	57(※3◎20□7)	46(※2◎15□7)

(備考) ()内の※印は社会人特別入試該当者, ◎は外国籍学生特別入試該当者, □は推薦入試該当者の数を内数で示します。

(2) 過去の試験問題の閲覧について

・学外の希望者

本研究科教務学生係で閲覧することが可能です。詳しく国際文化学研究科ホームページ（受験生用情報→大学院入学試験過去問題）をご覧ください。

・本学の学生

神戸大学 総合・国際文化学図書館で閲覧することが可能です。

なお、以下国際文化学研究科ホームページ（受験生用情報→大学院入学試験過去問題）上においても、著作権に配慮したものを掲載しています。

<http://web.cla.kobe-u.ac.jp/prospective-g>

【問い合わせ先】

神戸大学大学院国際文化学研究科教務学生係

〒657-8501

神戸市灘区鶴甲 1 丁目 2-1

TEL : 078-803-7530

Email : gicls-kyomugakusei@office.kobe-u.ac.jp

Website : <http://web.cla.kobe-u.ac.jp/>

WebsiteQR コード :



《 麻しん（はしか）・風しんの感染予防措置 》

麻しん・風しんのワクチン接種（予防接種）・抗体検査に関する書類の提出について

神戸大学では「麻しん風しん登録制度」を定め、入学後のキャンパス内での麻しん・風しんの流行を防止するため、全ての新生に次の①、②、③のいずれかを提出していただいています。

- ① 麻しん・風しんのワクチン接種を、満1歳以降にそれぞれについて2回ずつ受けたことを証明する書類（推奨）
- ② 過去5年以内（令和3(2021)年4月以降）に麻しん・風しんのワクチン接種を、それぞれについて1回ずつ受けたことを証明する書類
- ③ 過去5年以内（令和3(2021)年4月以降）に受けた麻しん・風しんの抗体検査の結果が、「麻しん・風しんの発症を防ぐのに十分な血中抗体価（次頁の表を参照）を有していること」を証明する書類

- * ①、②のワクチンは、麻しん・風しん混合ワクチン（MRワクチン）等の混合ワクチンでもかまいません。
- * ①、②では、接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていることが必要です。
- * 母子手帳等のワクチン接種記録や接種済証も、接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていれば①、②の書類として使用できます。
- * 既往歴（かかったこと）がある場合は、③を提出するか、ワクチン接種を受けて①か②を提出してください。
- * ③では、次頁の表の血中抗体価の測定方法と測定値が記載され、測定値が同表の判定基準を満たしていることが必要で、血液検査結果票そのものの提出でもかまいません。血中抗体価が不十分な場合には、必要なワクチン接種を受け、①か②を提出してください。
- * ①、②、③の書類の組み合わせ、例えば麻しんについては①、風しんについては③を提出してもかまいません。
- * 麻しん・風しんの血中抗体価が不十分にもかかわらず、病気や体質等やむを得ない事情によってワクチン接種を受けられない場合には、その旨を記載した文書（医師による証明書等）を提出してください。
- * 上記のいずれの書類も入学試験の合否判定に用いるものではありません。

提出期限：4月入学者は新生健康診断実施日、10月入学者は10月入学者健康診断実施日

提出先：健康診断会場内 麻しん風しん登録受付

麻疹・風しんの発症を防ぐのに十分な血中抗体価の測定方法と判定基準

区 分	測定方法	判定基準	備 考
麻疹	IgG－EIA 法 PA 法 NT 法	8.0 以上の陽性 256 倍以上の陽性 4 倍以上の陽性	3 つの測定方法のうち、いずれかで陽性
風しん	HI 法 IgG－EIA 法	32 倍以上の陽性 8.0 以上の陽性	2 つの測定方法のうち、いずれかで陽性（HI 法を推奨）

- * ワクチン接種歴が条件を満たす場合や追加接種する場合は、抗体検査は不要です。
- * 血中抗体価の測定は、この表の方法によってください。
- * 発症を防ぐのに十分な血中抗体価は、測定方法によって異なります。また、**単に抗体陽性とされる値よりは高い値**なので注意してください。
- * 医療機関を受診する際には、必要なワクチン接種や抗体検査を受けることができるか、予め確認してください。また、この学生募集要項を医師に提示するなどして必要な証明書を発行してもらってください。

この感染予防措置に関する問い合わせは

神戸大学 保健管理センター TEL 078-803-5245
神戸大学 学務部学生支援課 TEL 078-803-5219